

明治ホームズの家づくり

断熱材 ～冬暖かく、夏涼しい家の両立を目指して～

屋根断熱

夏の暑さ対策として、天井断熱より屋根断熱のほうが効果があります。屋根断熱は、屋根勾配なりの傾斜した断熱工事をするので、小屋裏は断熱材の内部となり、室内と同じような環境になるので、空間を有効に使うことが可能です。

メリット ● 天井が高く、開放感があり、デザインに変化が生まれる。
● 小屋裏をロフト（屋根裏部屋）や物置として有効利用できる。



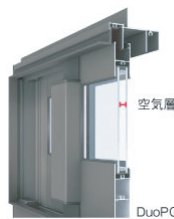
屋根断熱

ポリスチレンフォーム 厚 50mm

※断熱材と屋根下地合板（厚 12mm）の間に 25mm の通気層をつくっています。

壁断熱

ロックウール 75mm
+
デュポン ザバーン



窓 ペアガラス（全窓）

ロックウール

保温・断熱性能が高く、優れた吸音特性も兼ね備えたロックウールは大気中の湿気を吸収しにくい特性を持ちます。また組成が安定しているため、他の断熱材に比べ耐候性に優れています。

デュポン ザバーン

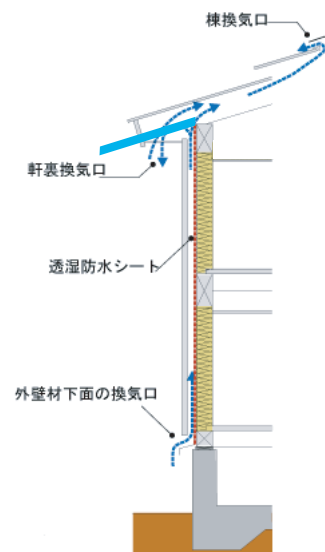
夏場の壁体内を常に最適な湿度環境に調湿して夏型結露を防止し、ロックウールの断熱性能を維持します。
冬場には一般の気密シートと同様の気密・防湿効果を発揮して壁体内結露を防止します。カビたり腐食することはありません。焼却しても有毒ガスを発生せず、水と炭酸ガスに分解します。



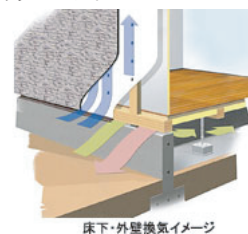
床断熱

ポリスチレンフォーム 厚 50mm

外壁通気

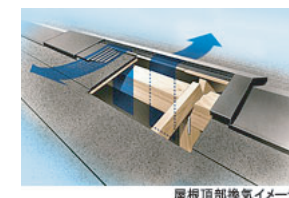


■棟換気を取った場合
外壁下の隙間から、軒裏換気口棟換気口に向かって空気が流れる。



床下・外壁換気イメージ

棟換気



屋根頂部換気イメージ



温まった空気を上昇気流で自然換気します。

通気金物 15mmにより通気層を確保



※外壁にサファイナ材（15mm厚防汚加工標準）の場合

外壁通気を確保すると床下から建物外周部分の全てが通気するため、木部の乾燥状態を保つことができます。長く、安心してお住まいいただける住まいとなります。